

個別事業説明書【PR版】

土 木 部

1 防災・減災対策等の推進事業

国内示を受けて、道路や河川、港湾海岸、砂防施設及び街路等の整備を行うなど、防災・減災対策等の推進を図るための事業を実施し、県民の安全・安心を確保する。

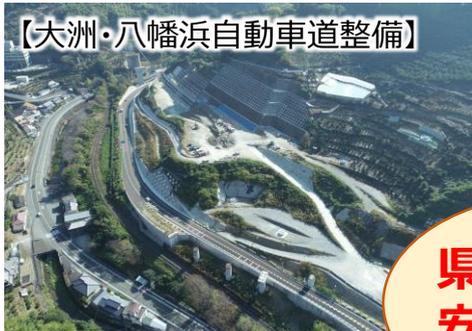
お問い合わせ先
 土木部道路都市局 道路建設課 (089-912-2710)
 道路維持課 (089-912-2720)
 都市計画課 (089-912-2735)
 都市整備課 (089-912-2745)
 土木部河川港湾局 河川課 (089-912-2670)
 港湾海岸課 (089-912-2690)
 砂防課 (089-912-2700)

指標	施策	KGI	別紙のとおり	現状値	別紙のとおり
	細施策	KGI	別紙のとおり	現状値	別紙のとおり
				目標値	

事業イメージ

KPI 別紙のとおり

現状値
 目標値 別紙のとおり



県民の安全・
 安心の確保



大規模災害に
 備えた防災・
 減災対策の
 推進



事業概要

- 地域住民の日常生活の安全性や利便性の向上等を図るための道路整備
 2,250,768千円【道路建設課】
- 大洲・八幡浜自動車道の整備
 170,526千円【道路建設課】
- 橋りょうの老朽化対策、交通安全施設等の整備
 2,311,240千円【道路維持課】
- 盛土規制法の施行に伴う基礎調査の実施
 14,000千円【都市計画課】
- 都市計画道路、都市公園等の整備
 367,367千円【都市整備課】
- 市町が実施する水道施設の耐震化等の整備支援
 201,139千円【都市整備課】
- 河川の改修、ダム施設の老朽化対策等
 1,666,516千円【河川課】
- 港湾、海岸保全施設の整備
 692,026千円【港湾海岸課】
- 土砂災害防止施設（土石流、地すべり、急傾斜）の整備
 1,462,621千円【砂防課】

別紙 防災・減災対策等の推進事業

指標	施策	細施策	事項名	KPI
	20:本県ならではの魅力ある観光まちづくりの推進 KGI 日本人延べ宿泊者数 現状値 4,529千人(R1年) 目標値 4,900千人(R8年)	20-4:各都市公園の魅力向上 KGI 各都市公園の年間来訪者数合計 現状値 2,382千人(R5年度) 目標値 2,667千人(R8年度)	都市公園施設整備費【都市整備課】	KPI 年度当初に整備を予定していた施設数に対する整備実施率(当初計画のとおりに確実な整備を目指す) 現状値 100%(R5年度) 目標値 100%(R8年度)
	25:暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備 KGI 高速道路の整備率 現状値 81.9%(~R5年度累計) 目標値 83.6%(~R8年度累計) KGI コンパクトなまちづくりの推進に向けた都市基盤の整備率 現状値 67.8%(~R5年度累計) 目標値 73.3%(~R8年度累計) KGI 拠点形成を支援するための道路の整備率 現状値 90.9%(~R5年度累計) 目標値 91.3%(~R8年度累計)	25-2:高速道路ネットワークの整備 KGI 高速道路の整備率 現状値 81.9%(~R5年度累計) 目標値 83.6%(~R8年度累計) 25-3:都市の機能性、安全性、利便性及び快適性の増進 KGI コンパクトなまちづくりの推進に向けた都市基盤の整備率 現状値 67.8%(~R5年度累計) 目標値 73.3%(~R8年度累計) 25-4:生活圏域道路の整備 KGI 拠点形成を支援するための道路の整備率 現状値 90.9%(~R5年度累計) 目標値 91.3%(~R8年度累計)	地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道整備事業費【道路建設課】 都市計画街路事業費【都市整備課】 道路改築事業費【道路建設課】	KPI 大洲・八幡浜自動車道の整備率(2%/年増を目指す) 現状値 58%(~R5年度累計) 目標値 63%(~R8年度累計) KPI 都市計画街路の改良率(0.7%/年増を目指す) 現状値 68.1%(~R5年度累計) 目標値 70.8%(~R8年度累計) KPI 生活圏域ネットワーク道路の改良率(0.2%/年増を目指す) 現状値 90.1%(~R5年度累計) 目標値 90.8%(~R8年度累計)
	26:公共施設の適正なマネジメント KGI 県の管理する公共施設等の管理不備・老朽化に起因する重大事故発生件数 現状値 0件(R4年度) 目標値 0件(R8年度)	26-4:道路の適正管理 KGI 県管理道路における道路管理瑕疵に起因する重大事故の発生件数 現状値 0件(R5年度) 目標値 0件(R8年度) 26-5:河川・ダム等の適正な管理による水災害の抑止 KGI 河川・ダム施設稼働率 現状値 100%(R5年度) 目標値 100%(R8年度) 26-6:港湾の適正管理 KGI 港湾施設の管理不備による港湾の利用(通常の荷役作業等)に支障を与えた件数 現状値 0件(R5年度) 目標値 0件(R8年度)	橋りょう補修事業費【道路維持課】 堰堤改良費【河川課】 港湾整備事業費【港湾海岸課】	KPI 早期措置段階(Ⅲ)橋梁の修繕完了率(次回点検(5年後)までの修繕完了を目指す) 現状値 73.6%(~R5年度累計) 目標値 100.0%(~R8年度累計) KPI ダム施設正常稼働率(法定点検対象施設すべての正常稼働を目指す) 現状値 100%(R5年度) 目標値 100%(R8年度) KPI 計画に対する事業進捗率(R10年度までの整備完了を目指す) 現状値 13%(R5年度) 目標値 64%(R5~8年度累計)
	29:大規模災害に備えたまちづくり KGI 災害想定死者数 現状値 16,032人(H25年) 目標値 2,439人	29-7:河川災害の予防 KGI 河川整備率 現状値 46.0%(~R5年度累計) 目標値 46.1%(~R8年度累計) 29-8:津波・高潮災害の予防 KGI 基準年から目標年に整備する海岸施設により高潮や津波浸水から守られる地域の面積 現状値 9,012ha(R5年度) 目標値 9,014ha(R5~8年度累計) 29-9:土砂災害の予防 KGI 土砂災害防止施設により土砂災害から保全される人家戸数 現状値 8,003戸(H25~R5年度累計) 目標値 9,508戸(H25~R8年度累計)	河川改修費【河川課】 海岸保全施設整備事業費【港湾海岸課】 通常砂防事業費【砂防課】 地すべり対策事業費【砂防課】 急傾斜地崩壊対策事業費【砂防課】 盛土対策推進費【都市計画課】	KPI 計画延長に対する事業実施率(0.3%/年以上増を目指す) 現状値 0.2%(R4年度) 目標値 1.2%(R4~8年度累計) KPI 海岸保全基本計画に基づく重点整備海岸の整備率(R8年度までに4%増を目指す) 現状値 17%(H27~R5年度累計) 目標値 21%(H27~R8年度累計) KPI 砂防設備の整備によって保全される人家戸数(250戸以上/年増を目指す) 現状値 2,815戸(H25~R5年度累計) 目標値 3,534戸(H25~R8年度累計) KPI 地すべり防止施設の整備によって保全される人家戸数(50戸以上/年増を目指す) 現状値 2,429戸(H25~R5年度累計) 目標値 2,579戸(H25~R8年度累計) KPI 急傾斜地崩壊防止施設の整備によって保全される人家戸数(170戸以上/年増を目指す) 現状値 1,878戸(H25~R5年度累計) 目標値 2,388戸(H25~R8年度累計) KPI 盛土規制法に基づく規制区域指定率(R7年度までの指定完了を目指す) 現状値 0%(R5年度) 目標値 100%(R7年度)
	33:交通安全対策の推進 KGI 交通事故死者数 現状値 44人(R4年) 目標値 33人(R8年)	33-2:県管理道路における安全かつ快適な交通の確保 KGI 令和3年度通学路合同点検結果による要対策箇所への対策完了率 現状値 67.2%(~R5年度累計) 目標値 69.0%(~R8年度累計) 33-1:良好な大気・水・土壌環境等の保全 KGI 大気・水質環境基準達成率 現状値 87.9%(R4年度) 目標値 100%(R8年度)	交通安全施設等整備事業費【道路維持課】 水道施設耐震化等促進事業費【都市整備課】	KPI 道路法面の要対策箇所における対策完了率(0.3%/年増を目指す) 現状値 60.7%(~R5年度累計) 目標値 61.6%(~R8年度累計) KPI 市街地における県管理道路歩道等整備率(0.2%/年増を目指す) 現状値 75.4%(~R5年度累計) 目標値 76.3%(~R8年度累計) KPI 基幹管路の耐震適合率(全国平均以上の耐震適合率を目指す) 現状値 33%(R4年度) 目標値 42%(R6年度)



2 道路啓開体制強化緊急対策事業費

令和6年度6月補正予算(案)
 予算額 14,897千円

災害発生時にガレキを処理し、簡易な段差修正などにより、緊急車両のみでも通行できるよう最低限の道路通行幅を確保する道路啓開について、ドローンを活用した情報収集訓練及び実地訓練の実施により、災害時における体制強化を図る。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 道路維持課
 (089-912-2720)

指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	現状値	16,032人 (H25年)
	KGI	災害想定死者数	目標値	2,439人
指標	細施策	29-2 防災・減災のための危機管理体制の強化	現状値	0人 (R5年度)
	KGI	自然災害などによる人的被害(死者数)	目標値	0人 (R5~8年度累計)

事業イメージ	KPI	訓練を実施した県建設業協会支部数 (県建設業協会全12支部の実施を目指す)	現状値	3支部 (R5年度)
			目標値	12支部 (R5~8年度累計)

★道路啓開訓練の実施(ドローンを活用した情報収集・実地訓練を11月に実施)



① ドローンを活用した情報収集訓練

② 実地訓練

1) ガレキ等撤去訓練
 1車線分の崩土等を除去

2) 段差擦り付け訓練
 簡易工法で段差を解消し、緊急車両等の通行を可能とするための段差すりつけ訓練を行う。

3) 放置車両移動訓練
 ゴージャッキで放置車両移動訓練を行う。

4) マンホール段差除去
 液状化により隆起したマンホールの段差解消訓練を行う。

※能登半島地震で液状化によるマンホールの浮き上がりが交通の支障となったことから、被災事例に即した訓練内容としている。

★ドローンの機能向上による被災箇所からの情報伝達機能の強化
 能登半島地震のような大規模災害により多発する被災や孤立集落の発生に関する迅速な情報収集・伝達機能の強化を図るため、機器性能の高いドローンに更新するとともに、配備台数を増加する。

事業概要

【訓練概要：土木部防災訓練の内容を拡充し、緊急的に実施】

- 参加者 県(土木部、建設部・土木事務所)、県建設業協会
- 訓練内容
 - ①ドローンで情報収集 → ②情報の共有 → ③道路啓開の実地訓練(県建設業協会への要請等)
- 訓練場所等
 県建設業協会12支部のうち八幡浜支部、喜多支部、西予支部の3支部は輪番参加の原子力防災訓練で、他9支部は毎年3支部を対象に実施

※ドローンの機能向上について
 飛行時間拡大、ドローン専用端末導入による迅速な情報伝達、同時発災対応可能な台数の確保

機能・配備数	現行	更新後
最大飛行時間(1回あたり)	約20分	約30分
専用の通信可能端末導入による迅速な情報伝達	—	○
配備数	13機	17機

区分	予算額	備考
実地訓練	5,973千円	3会場(訓練業務一式)
ドローン購入等	8,924千円	17機(付属品、保険等を含む)
合計	14,897千円	

3 木造住宅耐震化促進事業費

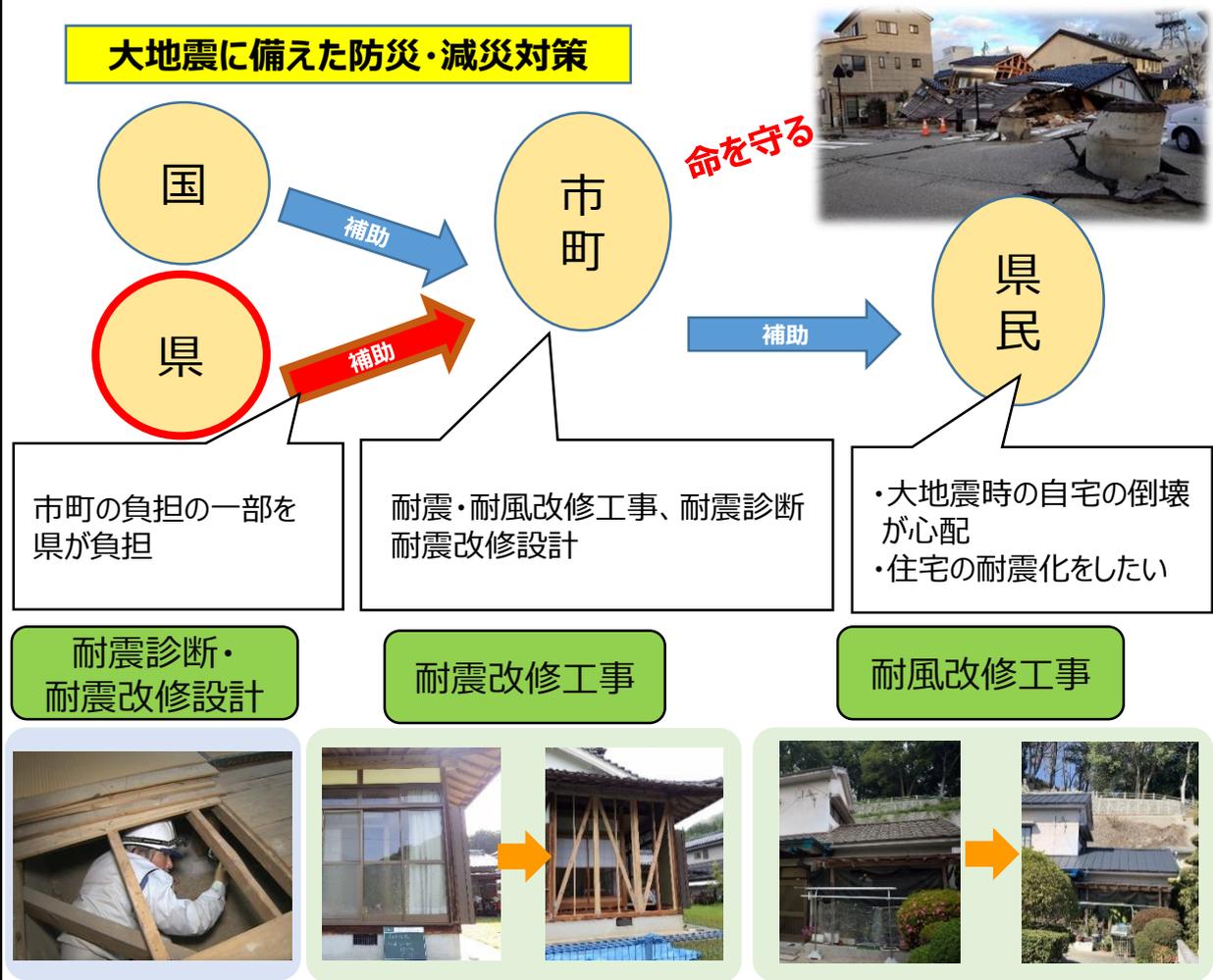
令和6年能登半島地震・豊後水道を震源とする地震の影響から、耐震診断の申込みが増加している。このため、耐震診断や耐震改修設計に係る市町への補助を拡充し、近い将来発生が懸念されている「南海トラフ地震」に備え、県民の安全・安心を確保する。

お問い合わせ先
 土木部道路都市局
 建築住宅課
 (089-912-2755)

指標	施策	29 大規模災害に備えたまちづくり	現状値	16,032人 (H25年)
		KGI 災害想定死者数	目標値	2,439人
	細施策	29-10 民間住宅等の倒壊の予防	現状値	86% (R4年度推計)
		KGI 住宅の耐震化率	目標値	91% (R8年度)

事業イメージ **KPI** 耐震改修等が必要な木造住宅への対応率
 現状値 100% (R4年度)
 目標値 100% (R8年度)

事業概要



- 木造住宅耐震診断促進事業費補助金 **4,800千円**
 - 《補助対象》
S56.5以前に着工された木造戸建て住宅に対する耐震診断技術者派遣制度に要する経費
 - 《対象戸数》
1,000戸 + **400戸** = 1,400戸 (当初予算から**400戸拡充**)
 - 《補助率》
市町が負担した額×1/2 (上限12千円/戸)
 - 《事業費》
12千円×400戸 = 4,800千円
- | | |
|--------------------|------------------------|
| 負担額内訳例 (50,926円/戸) | |
| 国 | 25,000円/戸 (市町補助) |
| 市町 | 13,926円/戸 |
| 県 | 12,000円/戸 |
| 住宅所有者 | 3,000円or9,900円 (評価手数料) |
- 木造住宅耐震改修設計促進事業費補助金 **12,000千円**
 - 《補助対象》
S56.5以前に建築され又は着工した一戸建ての木造住宅 (上部構造評点1.0未満) に対し、上部構造評点が1.0以上になる耐震改修設計経費
 - 《対象戸数》
300戸 + **120戸** = 420戸 (当初予算から**120戸拡充**)
 - 《補助率》
市町が負担した額×1/2 (上限100千円/戸)
 - 《事業費》
100千円×120戸 = 12,000千円
- | | |
|----------------------------|-------|
| 負担額内訳例 (300千円) | |
| 市町 | 100千円 |
| 県 | 100千円 |
| 住宅所有者 | 100千円 |
| +(18,000円又は38,500円(評価手数料)) | |